

奨励賞

京都鉄道博物館

京都市下京区



建築主

西日本旅客鉄道株式会社

設計者

ジェイアール西日本コンサルタンツ・東畑建築事務所設計共同体、大成建設株式会社一級建築士事務所

施工者

大成建設株式会社

みやこ柚木の積極的な活用

地域産木材であるみやこ柚木を来館者が親しみやすい休憩スペースにおける壁面・ベンチ、また来館者が必ず目に留めるサインと一体化させ施設全体に点在させることにより、地域産木材の積極的な魅力づけを行っている。



梅小路公園における周辺環境との調和

梅小路公園内の重要文化財である梅小路機関車庫のデザイン要素を受け継ぎ、再構成することで全体の調和を図った。屋根と壁面の色はダークグレーとし、アクセントカラーを「梅ねず、利休ねず」とすることで、伝統的な色彩を踏襲し周辺との調和を図っている。



再生可能エネルギーや高効率機器の導入

太陽光パネル(70KW)を本館に設置するとともに館内に発電量を表示し、エントランス棟正面の公園部分には、ソーラー灯を配置している。また、植栽散水用として雨水の再利用を行い、その他LED照明によるエネルギー消費効率の高い設備の導入や節水コマ及び節水器具、自動水栓、擬音装置を採用している。



奨励賞

GSユアサ京都事業所 東18号棟

京都市南区



建築主

株式会社 GSユアサ

設計者

株式会社大林組大阪本店一級建築士事務所

施工者

株式会社大林組

断熱性の高い外装材と必要最小限の外壁開口

外壁は金属断熱サンドイッチパネルとし、開口を必要最小限に抑えることで断熱性能の高い建物とした。また軒の深いエントランス庇と横連窓の開口部により水平ラインを強調したシャープな外観とし、工場内に新たな施設の存在感を示している。



太陽光発電設備の設置、エネルギー消費効率の高い設備の導入

根に可能な限り太陽光パネルを設置し、消費電力の削減を図った。また、エネルギー消費性能の高いEHP、全熱交換機、LED照明の採用や井戸水を散水等に利用することにより、環境負荷低減を図っている。



エネルギーの「見える化」による電力ピークカット

BEMS(エネルギーの見える化)を導入し、電気、上水、井水、蒸気の使用量の計測を行い、建物のエネルギー使用量を収集するとともに、用途ごとに電灯分電盤、動力配線盤を設置し、各盤の電力量を計測することでエネルギー使用量の傾向を分析し省エネに努めている。

